

第38回全国自治体政策研究交流会議 長野大会 第39回自治体学会 長野大会

統一テーマ

未来に向けて高める ウェルビーイング － 幸せ実感都市 NAGANOから －

2025 8/22(金) ~ 8/24(日)

鏡池 夏の早朝

大会参加・情報交換会・エクスカーション等のご案内

22日
(金)

○第38回全国自治体政策研究交流会議 長野大会

会場：長野市若里市民文化ホール
(長野市若里3丁目22番2号)
主催：長野市 共催：自治体学会

○第39回自治体学会 長野大会 研究発表セッション・表彰式・情報交換会

会場：長野市若里市民文化ホール
(長野市若里3丁目22番2号)
シャトレゼホテル長野
(長野市七瀬1-1)
主催：自治体学会 共催：長野市

23日
(土)

○第39回自治体学会 長野大会 総会・全体会・分科会等

会場：長野市若里市民文化ホール
(長野市若里3丁目22番2号)
主催：自治体学会
共催：長野市

24日
(日)

○第39回自治体学会 長野大会 エクスカーション

主催：自治体学会

未来に向けて高める ウェルビーイング ー 幸せ実感都市 NAGANOから ー

第38回全国自治体政策研究交流会議長野大会 ごあいさつ

第39回自治体学会が、長野市におきまして盛大に開催されることを心よりお喜び申し上げます。

第38回全国自治体政策研究交流会議の主催及び自治体学会の大会開催地として、全国からお越しいただく皆様を心から歓迎いたします。また、阿部理事長をはじめとする自治体学会の皆様や関係各位が、日頃より地方自治について研究を進めながら、積極的な交流を重ね、成果を披露し合い、自らが暮らす地域での実践に活かすことで、地方自治の発展に御尽力いただいておりますことに、深く敬意を表します。

ここ長野市は、長野県の北部に位置し、古くから善光寺の門前町として発展し、現在では新幹線や高速道路等の交通網を有し、日本海側と太平洋側を結ぶ拠点となっています。また、県都として都市機能が集積しながら、北信五岳に抱かれ、市街地から30分程度で大自然に触れることができる、都市と自然が共存するまちです。

さらに、長野市は、戸隠そばやおやき、川中島白桃といった特産品や、真田十万石の城下町松代、アルプスの展望などの見どころが充実しておりますので、是非ともお越しの皆様には存分に長野市の魅力に触れていただきたいと思います。

今回の政策交流会議は、「世界に誇れるまちづくり、まちづかい」をテーマに、パネルディスカッションを行います。いかにして地域が持つ資源をつかいながら、世界に誇れるまちをつくっていくのか、その考え方や地域での実践事例、未来への展望などについて議論を深めることで、全国での地域づくりのヒントが生まれることを願っています。

結びに、今回の大会を通じて、御参加の皆様が研究と交流を大いに深めていただくことを期待するとともに、関係者の皆様の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。

長野市長 荻原健司

第39回自治体学会長野大会 ごあいさつ

第39回自治体学会長野大会の開催にあたり、開催に向けてご尽力いただいた荻原健司市長をはじめとする長野市の皆さまに、心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

自治体学会はこれまで、原則として、全国自治体政策交流会議の開催地で、全国自治体政策交流会議と日程的に連続させて、毎年度の全国大会を開催してまいりました。そして、全国自治体政策交流会議の主催者である自治体に、自治体学会全国大会の開催にも、多大なご協力をいただけてきました。開催地自治体の全面的な協力がなければ、自治体学会全国大会の開催は不可能であったというのが、偽らざる現実です。

今年度も、その例外ではありません。全国各地から研究者、自治体職員、自治体議会議員、そして地方自治に関心を寄せる多数の市民が集う場を、自治体学会と協働で設けることに賛同してくださった長野市の皆さまには、本当に感謝しております。

今年度の自治体学会長野大会のテーマは、「未来に向けて高めるウェルビーイング～幸せ実感都市 NAGANO から～」です。少子高齢化と人口減少が止まらない今日の困難な状況下で、どうすれば地域で暮らす人々の幸福度を高めていくことができるのかを、総合計画に将来都市像として「幸せ実感都市『長野』」を掲げるこの長野の地で、全国から集った参加者が知恵を出し合い、共に考えてみようという趣旨です。

長野は、信州自治体学会が地域に根ざした活動を、熱心に継続してきた地でもあります。そうした場所で開催される第39回自治体学会長野大会で参加者の各々が学んだことが、これから先の全国各地における自治の実践に活かされていったならば、これに勝る喜びはありません。

自治体学会理事長 阿部昌樹
(大阪公立大学教授)

《 開 催 概 要 》

■ 第 38 回全国自治体政策研究交流会議長野大会

日程	内 容	会 場	備 考
8 月 22 日 (金)	13:00 開場・受付開始 13:30 開会挨拶 基調講演 「長野オリンピックからつながるストーリー」 荻原 健司 長野市長 パネルディスカッション「世界に誇れるまちづくり、まちづかい」 登壇者 荻原 健司 長野市長 倉石 智典 (株)R-DEPOT 代表取締役 大宮 透 小布施町長 コーディネーター 西村 幸夫 國學院大學まちづくり観光学部長 15:45 閉会	○長野市若里市民文化ホール 〒380-0928 長野市若里 3 丁目 22 番 2 号 ・ J R 長野駅から徒歩 約 25 分 ・ 長野駅善光寺口 2 番のりば 日赤松岡線「ビッグハット」下車 1 分 ・ 長野駅東口 21 番のりば 日赤・水野美術館線「水野美術館」下車徒歩 3 分	参加費 無料

■ 第 39 回自治体学会長野大会

日程	内 容	会 場	備 考
8 月 22 日 (金)	16:00 研究発表セッション A 地方議会と自治体運営 B まちづくりと地域活性化 18:00 C 協働と連携 D 自治体職員のあり方と分析ツール E 政策のデリバリー F 都市構造のあり方の再検討 18:45 自治体学会賞表彰式 ～ 情報交換会 20:30	○長野市若里市民文化ホール 〒380-0928 長野市若里 3 丁目 22 番 2 号 ・ J R 長野駅から徒歩 約 25 分 ・ 長野駅善光寺口 2 番のりば 日赤松岡線「ビッグハット」下車 1 分 ・ 長野駅東口 21 番のりば 日赤・水野美術館線「水野美術館」下車徒歩 3 分	参加費 【会員】 3,000 円 【非会員】 6,000 円
8 月 23 日 (土)	8:45 自治体学会総会 (8:45～9:30) 9:15 受付開始 9:40 分科会 第 1 部 (9:40～11:40) 1 地域コミュニティの存続・活性化と自治体行政の役割 2 (地元企画) 被災後のコミュニティの復興と平常時のネットワーク構築 ～ 3 (公募企画) 地方議会の新しい担い手としての移住者・地域おこし協力隊経験者 4 (公募企画)「消滅可能性自治体」をグランドデザインで救う ～100 周年を見据えた白子町がたどる未来と現在から考える～ 11:40 11:40 ～ (昼食・休憩) ポスターセッションコアタイム (12:00～12:45) 12:50 12:50 ～ 全体会 まちづくり「第一世代」から見た過去・現在・未来 (12:50～14:20) 14:20 14:30 分科会 第 2 部 (14:30～16:30) 5 その政策は必要な人に届いていますか? ～「政策デリバリー」の危機を問う～ ～ 6 長野から問う「地域と大学との連携」の実際 7 非合併から 20 年の自主・自律～小さな町村から何を学ぶか～ 16:30 10:00～16:00 ポスターセッション (コアタイムは 12:00～12:45)	※情報交換会会場 ○シャトレゼホテル 長野 長野市七瀬 1-1 TEL 026-219-3247 長野駅東口徒歩 5 分	情報交換会参加費 6,000 円
	10:00～16:00 ポスターセッション (コアタイムは 12:00～12:45)	○長野市若里市民文化ホール	

■ エクスカーション

日 程	内 容	参 加 費
8月24日 (日)	日帰りコース 「善光寺の謎」と「戸隠神社の秘密」巡り ～そば打ち体験もあります～	4,000 円

第38回全国自治体政策研究交流会議長野大会

2025年8月22日（金）13時30分～15時45分

長野市若里市民文化ホール

未来に向けて高めるウェルビーイング ——幸せ実感都市NAGANOから——

基調講演

テーマ 長野オリンピックからつながるストーリー

内 容 アスリートとしての歩みなどを振り返りつつ、世界から見たNAGANOについて語ります。

長野市長 荻原 健司

講演者

1969年生まれ。群馬県吾妻郡草津町出身。1992年アルベールビルオリンピック・1994年リレハンメルオリンピックにてスキー・ノルディック複合団体の金メダルを獲得。参議院議員、長野県教育委員会委員を経て、2021年に長野市長に就任（現在1期目）。



パネルディスカッション

テーマ 世界に誇れるまちづくり、まちづかい

内 容 いかにして地域の資源をつかいながら、世界に誇れるまちをつくっていくのか、考え方や地域での実践事例、未来への展望などについて語り合います。

登壇者

長野市長 荻原 健司

(株)R-DEPOT 代表取締役 倉石 智典

1973年生まれ。長野県長野市出身。観光業、都市計画業、不動産業、建築業を経て、2010年に空き家の仲介、リノベーションを専門とする(株)MY ROOMを設立。2021年に、まちづかいの拠点としてR-DEPOTを立ち上げ、門前町の活性化に積極的に取り組んでいる。



小布施町長 大宮 透

1988年山形県生まれ、群馬県高崎市出身。2013年より小布施町に拠点を移し、法政大学・小布施町地域創造研究所（現慶應SDM・小布施町ソーシャルデザインセンター）主任研究員。2020年に小布施町役場入庁。2025年に小布施町長に就任（現在1期目）。



コーディネーター

國學院大學まちづくり観光学部長 西村 幸夫

東京大学工学博士。東京大学副学長、東京大学先端科学技術研究センター所長等を経て、2022年から現職。文化庁文化審議会委員、同世界文化遺産・無形文化遺産部会会長、国際記念物遺跡会議（ICOMOS）副会長などを歴任。日本イコモス国内委員会顧問。



第39回自治体学会長野大会 プログラム一覧
2025年8月22日(金)～23日(土)
長野市若里市民文化ホール

大会統一テーマ
未来に向けて高めるウェルビーイング
—幸せ実感都市NAGANOから—

◎第1日 8月22日(金)

＜研究発表セッション (16:00～18:00)＞

会員が自治の諸課題に取り組む実践報告や研究成果などを発表し、会場の参加者と議論を深めます。

セッションA：地方議会と自治体運営		コメンテーター：新垣 二郎（横浜市立大学）
1 滝本 直樹	予算を伴う議員提案条例に関する一考察～犯罪被害者等支援条例を題材として～	
2 松本 武洋	ネット時代の百条調査権～2024年兵庫県議会の事例を踏まえて	
3 鈴木 洋昌	東京圏の道府県議会議員選挙における指定都市域候補者の選挙公報の分析 指定都市選出県議会議員は県の役割に依拠した訴えを行っているのか	
4 小柳 貴之	総合計画を使わなかった自治体の行財政運営の実態について	
セッションB：まちづくりと地域活性化		コメンテーター：坂本 誠（地方自治総合研究所）
1 白石 滋彦	今治市における道の駅運営への行政関与に関する一考察	
2 景山 哲至	郊外ニュータウンの日常生活圏におけるモノづくりからコトづくりへの変革 ～埼玉県鳩山ニュータウンまちづくりに関する一考察～	
3 松岡 俊哉	煉瓦のまちのまちづくりに関する一考察	
4 佐野 杏	神奈川県真鶴町における移住者の移住経緯と移住後のコミュニティ形成	
セッションC：協働と連携		コメンテーター：原田 晃樹（立教大学）
1 中村 義実	地域資源の再発見がもたらす看護大生の意識変容 ～自治体と連携した「新潟学」の授業実践から～	
2 寺井 悠人	行政・市民間の書記言語コミュニケーション上の問題に関する考察 ～市民対象の探索型調査の分析をふまえて～	
3 衣川 智久	新庁舎におけるこれからの市民協働の取り組み	
4 高田 昭彦	行政の補完とならない？災害ボランティア活動 ～石川県地域防災計画や、ボランティア施策を事例に～	
セッションD：自治体職員のあり方と分析ツール		コメンテーター：松井 望（東京都立大学）
1 池山 敦	集落支援員制度の現状と課題に関する一考察 ～三重県における自治体・支援員調査の結果から～	
2 池田 洋子	地方公務員の人材育成・確保のための、「開拓」と「継続」の視点 ～「キャリア教育」と「キャリアセンター機能」の充実～	
3 後藤 好邦	地方政府組織における人事評価に関する考察 ～市及び特別区を対象とする全国アンケート調査結果から～	
4 杉山 千弥	自治体を多角的に解釈する独自指標「ひろしま物指」の作成と構造方程式モデリング を用いた自治体の構造的分析の有効性に関する考察	
セッションE：政策のデリバリー		コメンテーター：澤田 道夫（熊本県立大学）
1 坪田 祥宜	国主導による自治体のデジタル化と国・自治体間関係に関する考察 ～特別定額給付金の電子申請における市区町村独自手法の事例から～	
2 中川 和郎	自治体直営の清掃事業の意義	

3	川津 明子	東京都と神奈川県における犬介在施策の比較研究 ～制度・インフラ整備・支援体制・地域啓発の視点から～
4	千田 恭平	意思決定支援～効果検証を通してみた施策の有効性と生活の幅を広げる外出支援の 在り方
セッションF：都市構造のあり方の再検討 コメンテーター：鈴木 伸治（横浜市立大学）		
1	濱口 加津子	鉄密地域における都市居住の脆弱性に関する研究 ～千代田区分譲マンション実態調査より～
2	御正山 邦明／柴田 佳大	東京都内の自治体における公共交通の取り組みと今後のあり方に ついて～コミュニティバスに続く今後の公共交通～
3	柴田 佳大／御正山 邦明	東京都内における地域循環バスの運行実態の変化と持続可能性の考察 ～2019年と2024年を比較して～
4	鳥山 亜由美	「公立化大学」における学部等の新規設置に関する分析

<自治体学会賞表彰式・情報交換会

(18:45～20:30) >

◎第2日 8月23日(土)

<分科会 第1部

(9:40～11:40) >

分科会1 地域コミュニティの存続・活性化と自治体行政の役割

少子高齢化・人口減少社会が進行しているなかで、地域課題を解決するための主体として自治会町内会をはじめとする地域コミュニティ組織に期待がかけられている。その一方で、地域コミュニティ組織は加入率の低下や担い手の不足・高齢化などの問題が深刻となっており、地域における自治は存続の岐路に立っているといっても過言ではない。

こうしたなかで、近年、地域担当職員制度や公務員の兼業・副業の拡充、地域貢献休暇制度、指定地域共同活動団体の指定制度など、自治体行政（職員）を地域にかかわらせることで解決の糸口を探ろうとする動きが加速している。こうした取り組みは、地域にいかなる影響を及ぼすのか。行政の現場と地域社会の現場それぞれで活躍されている方々から、現状の取り組み内容とそれに際して直面している課題を報告いただき、地域における自治の重要性を再確認するとともに、地域における自治体行政の役割を再考する。

◎パネリスト 花立 勝広（長野市地域活動支援課専門員兼政策調整局）

◎パネリスト 安藤 寿秀（塩尻市地域共生推進課）

◎パネリスト 小野 功（塩尻市高出二区区長）

●コーディネーター 宇佐美 淳（山梨総合研究所主任研究員）

分科会2 （地元企画）被災後のコミュニティの復興と平常時のネットワーク構築

地震、豪雨による洪水、山火事など災害の発生しない年はないといっても過言ではない。長野市においても令和元年東日本台風災害では、大雨による千曲川堤防決壊という甚大な被害を受けている。各地での災害発生は、平常時からの備えが大切だといわれ住民の防災意識の向上につながっていると思われるが、実際のところはどのような活動がされているのか。行政、社協、ボランティアなどの団体等の連携や目に見える施設復旧ではない復興はどうか。

この分科会では長野市における被災時の状況をそれぞれの立場で振り返りながら、平常時から行政の指導・指示によらずボランティアや地域住民、行政などが三者連携等のネットワーク構築を行っている取り組みを中心にいくつかの事例を紹介し、自発的活動の重要性や課題などを議論することで、同様のことを検討している他の地域の参考になればと考えている。

◎パネリスト 村田 憲明（長野市災害ボランティア委員会会長、防災士、会社員）

◎パネリスト 廣内 大助（信州大学教育学部教授）

◎パネリスト 清水 厚子（ぬくぬく亭代表、豊野まちづくり委員会副会長）

◎パネリスト 渡辺 修（長野市役所保健福祉部福祉政策課課長補佐）

●コーディネーター 小池 啓道（信州自治体学会代表）

分科会3 (公募企画) 地方議会の新しい担い手としての移住者・地域おこし協力隊経験者

地方議会のなり手不足は長らく課題とされてきた。一方、「田園回帰」により地方への移住は増加しており、地域における存在感を高めつつある。なかでも早くから「田園回帰」が進んできた長野県では、移住者が議員となり、議会改革や地域政策に積極的に関与する事例が増えている。また、その中には地域おこし協力隊経験者が少なくない。議員となった移住者・協力隊経験者は、多様なバックグラウンドをもとにした知見を政策に反映させている。こうした動きは、地方議会や地方自治の活性化に寄与するだけでなく、地域政策の革新にもつながる可能性を秘めている。本企画では、自治体政策の新たな担い手としての移住者や協力隊経験者に焦点を当て、その役割や影響力、さらには直面する課題と今後の可能性について検討する。本企画を通じて、移住者が地域政策の新たな担い手として果たす役割を明らかにし、地方自治の未来に向けた示唆を提供することを目指している。

- ◎パネリスト 渡辺 葉 (長野県富士見町議会議員)
- ◎パネリスト 早川 航紀 (須坂市議会議員、株式会社須坂の暮らし代表取締役)
- ◎パネリスト 加藤 ゆうすけ (横須賀市議会議員)
- コメンテーター 江藤 俊昭 (大正大学地域創生学部公共政策学科教授)
- コーディネーター 寺島 渉 (元・長野県飯綱町議会議員、地域政策塾 21 主宰)

分科会4 (公募企画) 「消滅可能性自治体」をグランドデザインで救う ～100周年を見据えた白子町がたどる未来と現在を考える～

昨年度新設された社会構想大学院大学社会構想研究科では、「社会の理想の姿」を見定め、その実現のための「社会や組織のグランドデザイン」を練り上げる研究を進めている。本分科会ではその一部として「消滅可能性自治体」千葉県白子町を対象としたものを報告する。白子町 100 周年を見据えて、「30 年後の白子町をともにつくる」をテーマに、その課題を列挙し、解決のために地元町民や役場との協力を得て、多彩な提案を行なった。パネリストは、様々な業態の専門家である社会人大学院生であり、白子町の未来につながるキーワードとして、「シン白子人デザイン」「観光・地域振興デザイン」「安心・安全デザイン」を設定し、広域連携、教育、防災、自転車活用、コンビニの新たな形態、地酒づくりなど、まさに 100 周年を射程に入れたグランドデザインの第一歩を踏み出した。これらを踏まえ、他自治体への展開、地域と大学の新たな関係についても議論を深める。

- ◎パネリスト 和田 建生 (合同会社ブリュンヒルデ代表社員／社会構想研究科)
- ◎パネリスト 吉岡 秀子 (ジャーナリスト／短大非常勤講師／社会構想研究科)
- ◎パネリスト 水島 康明 (水島紙店代表取締役社長／社会構想研究科)
- ◎パネリスト 原井 敬 (吉野川市長／社会構想研究科)
- コメンテーター 芹澤 豊 (白子町商工観光課地域プロジェクトマネージャー)
- コーディネーター 下平 拓哉 (社会構想大学院大学教授)

<昼食・休憩

(11:40～12:50) >

<ポスターセッション・コアタイム

(12:00～12:45) >

<全体会 まちづくり「第一世代」から見た過去・現在・未来

(12:50～14:20) >

自治体学会名誉会員である高橋寛治氏は、その著書の中で「少なくとも 2000 年頃まで続いてきた、地域独自の『まちづくり』はどこかへ消えてしまいました」と述べている（『内発的な「まちづくり」—柳田学・後藤学に学んで』柳田国男記念伊那民俗学研究所、2019 年、1 頁）。そうした実践こそが迫力と高い説得力をもって自治体が国と対峙する際の力の源泉となってきたこと、それが分権改革の流れにつながる一因であったことに鑑みれば、（分権改革が停滞し、集権的な流れが強まっている）今こそその実践を取り戻すべきではないか？

そこで、本分科会では、1970 年代に提唱された「地方の時代」に呼応して展開された「第一世代」のまちづくりに着目し、それを牽引した「レジェンド」にご登壇いただく。まちづくりのこれまでと現状を振り返り、実践を取り戻すための方途を探ってみたい。

- ◎パネリスト 高橋 寛治 (元・飯田市職員、元・和歌山県高野町副町長他)
- ◎パネリスト 安藤 周治 (元・過疎を逆手にとる会会長、NPO 法人「ひろしまね」理事長他)
- ◎パネリスト 黍嶋 久好 (元・愛知県豊根村職員、豊橋技術科学大学と愛知大学三遠南信地域連携研究センター主任研究員他)
- ◎パネリスト 緒方 英雄 (元・大分県大山町企画課長、元・第三セクター(株)「ひびきの郷」総支配人他)
- コメンテーター 川向 思季 (合同会社キキ共同創業者／代表、長野県立大学大学院ソーシャル・イノベーション研究科 1 期生修了)
- コーディネーター 嶋田 暁文 (九州大学教授)

＜分科会 第2部

(14:30～16:30)＞

分科会5 その政策は必要な人に届いていますか？ ～「政策デリバリー」の危機を問う～

どんなに練られた政策も、それが真に必要な人に届かなければ意味がない。政策のデリバリー（配送）問題は今、自治体の現場で改めて注目を集めている。2000年代以降、行政サービスの民間委託によるデリバリー・システムの変容が進むとともに、近年ではコロナ禍の際、必要な支援情報が対象者に届かない、届いても申請にアクセスできない等の事態が生じた。同時に、これまで近隣の面識関係を介して困りごとを抱えた住民にリーチし、支援制度につなげてきた自治会、民生委員など地縁の基盤が弱体化する中、高齢者の孤立や壮年・若年層のひきこもり等の問題も年々深刻化している。既存機能に長年依存してきた行政は、有効なデリバリー・システムを代替できずにいるのである。

本企画は以上の問題意識に立ち、指定管理者制度、重層的支援体制、在住外国人など具体的な課題と現場の実践をもとに、政策実施プロセスにおける政策デリバリーの現状と今後を考える。

◎パネリスト 有本 新（長崎県立大学地域創造学部講師）

◎パネリスト 宮本 佳代子（山梨県山梨市高齢者・介護支援課主幹（保健師））

◎パネリスト 丸山 文（出入国在留管理庁認定外国人支援コーディネーター）

●コーディネーター 役重 眞喜子（岩手県立大学総合政策学部准教授）

分科会6 長野から問う「地域と大学との連携」の実際

大学は多様な人材を地域に呼び込む「資源」であり、人口減少社会における期待も高い。本分科会では、地域が大学という「資源」を活用するために、自治体が果たすべき役割や可能性について議論する。「社会貢献機能（地域貢献等）」は大学の重要な役割の一つであり、地域人材の育成の基盤となることも期待されてきた。一方で、地域と自治体、大学の三者すべてにとって Win-Win となる連携の実現には課題もある。たとえば、域内に大学を擁する自治体とそうでない自治体とでは、連携のハードルは異なる。また、連携の必要性を十分に実感していない自治体もみられる。さらに、形骸化や意思疎通の難しさ、地域の受け入れ側負担といった問題が指摘されることもある。本分科会では、中核市であり複数の大学を擁する長野市の取り組みを中心に、具体的な事例を通じて、地域と大学との連携の意義を改めて確認するとともに、課題を乗り越えるための工夫や方策について検討する。

◎パネリスト 羽田 稔（長野市企画政策部企画課長）

◎パネリスト 横田 悦二郎（長野市第四地区住民自治協議会第四地区会長）

◎パネリスト 渡邊 さやか（長野県立大学大学院ソーシャル・イノベーション研究科准教授）

◎パネリスト 林 靖人（信州大学副学長・教授）

●コーディネーター 杉岡 秀紀（福知山公立大学地域経営学部准教授）

分科会7 非合併から20年の自主・自律～小さな町村から何を学ぶか～

長野県には「平成の大合併」のうねりの中で、合併をせずに独立独歩の道を選んだ小規模町村がたくさんある。合併しなかった理由、決断に至る過程は地域によってさまざまだ。

大合併のピークから、今年で20年の節目となる。この間、非合併を選択した町村は人口減少が進む中で、どのような地域づくりをしてきたか。自主・自律の精神はどのように発揮されているか。今日に至る実践と課題は、他の自治体にも通じる普遍性があると考えられる。

本分科会では、県内の二つの村の足跡を振り返りつつ、小規模ながら「自治体政府」を継続してきた意味、持続可能なコミュニティづくりや行政運営の鍵となるものを考えたい。パネリストの議論を通じて、人口規模を問わず、小さな自治体から学び取るものを見いだしたい。

◎パネリスト 西川 清海（長野県平谷村長）

◎パネリスト 根橋 範男（前・長野県山形村教育長）

◎パネリスト 大杉 覚（東京都立大学法学部教授）

●コーディネーター 前田 隆夫（西日本新聞論説委員）

ポスターセッション

8月23日（土） 10:00～16:00

地域ブロック単位、個人・団体の報告書などの配布・展示、自治体の取組みの紹介、出版物の展示・配布等を通して、参加者が交流・意見交換できる場としてポスターセッションを開催します。

コアタイム(12:00～12:45)には出展者が展示内容について解説します。

エクスカージョン

8月24日（日） 参加費 4,000円

◎日帰りコース 「善光寺の謎」と「戸隠神社の秘密」巡り そば打ち体験もあります～！！

◆9:00⇒長野駅東口に集合 ◆観光バスにて移動（戸隠奥社は参道から徒歩）

◆善光寺参拝 ⇒ 戸隠：とんくるりん（そば打ち体験とそばで昼食）⇒ 戸隠中社・奥社参拝

◆16:00長野駅で解散

<エクスカーションのご案内 8月24日(日)>

今回は歴史と自然が豊かな長野の名所を巡り、そばを味わい、長野の良さを堪能できるコースです。

8月24日(日) 9:00~16:00

Aコース(日帰りコース)

テーマ 「戸隠神社の秘密」巡りと「善光寺の謎」巡り ~そば打ち体験もあります！

◎参加費 一人4000円(そば打ち体験費用) ◎募集人員 25名

◎行程 ◆09:00 発⇒長野駅東口ユメリアバスパークに集合＝小池啓道さん出迎え

◆09:15 着⇒国宝：善光寺(30分参拝)

◆11:00 着⇒戸隠：とんくるりん＝そば打ち体験と打ったそばで昼食

☆戸隠のガイド：越志秀徳さん(戸隠宝光社曾長)

◆12:00 発⇒とんくるりんからパークス日本一の戸隠神社に向かう

◆12:15 着⇒戸隠中社参拝(グリーンミシュラン2つ星)

◆12:45 発⇒戸隠中社から戸隠奥社に向かう

◆13:00 着⇒戸隠奥社と九頭竜社参拝(参道2キロを往復：歩きやすい服装・スニーカーが必須)

◆14:00 発⇒戸隠奥社から長野市に向かう

◆16:00 着⇒長野駅にて解散

※ 受入れ体制：現地の受入れは戸隠観光協会の支援をお願いしています。

※ 輸送は、中型バスを予定しています。(ながの観光コンベンションビューローの支援)

※ 暑い時期ですので、暑さ対策は万全を期してください。

※ 悪天候や交通事情で行程の一部を急遽変更する場合があります。予めご承知おき願います。

<大会のバス輸送について>

会場が長野駅から徒歩で20分強かかるため、8月22日(金)の夕方と23日(土)の午前に、専用バスでの移動支援を予定しています。是非、ご利用ください。

○22日(金)：

i) 若里市民文化ホール発(18時10分頃)→シャトレゼホテル長野着(18時35分頃) 大型バス3台

ii) 若里市民文化ホール発(18時15分頃)→長野駅東口着(18時40分頃) 大型バス1台

○23日(土)：

i) 長野駅東口ユメリアバスパーク発(8時15分発)→若里市民文化ホール着(8時35分頃)

ii) " (9時10分発)→ " (9時30分頃)

いずれも大型バス1台

<宿泊先のご案内>

宿泊施設は、各自で早めに確保されますようお願いいたします。

参考までに、長野駅周辺のホテル名を下記に記載しますので、ご参考になしてください。

- | | | |
|---------------|------------------|---------------|
| ・ホテルメトロポリタン長野 | ・相鉄フレッサイン長野駅善光寺口 | ・ドーマーイン長野 |
| ・長野東急REIホテル | ・ホテルコートランド | ・シャトレゼホテル長野 |
| ・長野第一ホテル | ・東横INN長野駅東口 | ・チサンホテル長野 |
| ・ホテルJALシティ | ・東横INN長野駅善光寺口 | ・長野ホテル国際21 など |

自治体学会事務局からのお知らせ

◆長野大会における宿泊について

宿泊施設の予約・斡旋は、長野大会では行いませんので、ご理解くださいますようお願いいたします。

なお、長野大会の会場となる長野市若里市民文化ホールは、ＪＲ長野駅から徒歩圏内にありますが、周辺には宿泊施設はあまりありません。宿泊場所としては、長野駅周辺に多くのホテルがあります。

大会への参加を予定されている方は、各自で、宿泊施設を早目に確保されますよう、お願いいたします。

◆参加者の受付について

８月２２日（金）、２３日（土）の２日間、長野市若里市民文化ホール１階ロビーに受付を設置いたします。

参加される方は、必ず事前に受付を済ませてください。

◆大会資料について

- ・プログラム集は印刷物としては発行せず、学会ホームページに掲載いたしますので、ご覧ください。
- ・当日資料集についても印刷物としては発行いたしません。大会への参加を申し込まれた方には、資料の取得（ダウンロード）方法につきまして、大会数日前までにメールで連絡いたします。
- ・必要な資料は、ご面倒でも、各自でプリントアウトするなどして、ご持参願います。

◆自治体学会総会について

- ・自治体学会の総会は、２３日８時４５分から９時３０分までの予定で、長野市若里市民文化ホールで行います（会場は当日案内します。）。
- ・総会は、学会の事業計画案や予算案等を審議する重要な会議です。分科会の打合せなど支障のない方はご出席下さい。２２日に受付を済ませていない方は、総会後に受付を済ませてください。

◆研究発表セッション、分科会、全体会、ポスターセッションの会場について

- ・２日間とも、長野市若里市民文化ホールの各室を使用して開催します。
- 会場案内を受付で配布いたします。

◆昼食について

- ・会場周辺には飲食店はあまりありません。昼食を持参されるか、弁当の予約をお願いします。
- ・昼食は各会議室内で召し上がれます（ホール内、ホワイエは、食事できません。）。

◆喫煙場所について

- ・館内禁煙です。屋外に喫煙可能な場所がありますので、会場案内に表示します。

参加申込について

今年度の自治体学会全国大会は、長野県長野市で行われます。
参加の申込は、事務局が受付窓口となります。
参加を希望される方は下記の方法により申し込んでください。

<参加申込方法>

- 開催案内に示してある「大会参加申込書」により、必要事項を記入の上、メール、郵送にて事務局へお送りください。※FAX は使用しないでください。

申込書のファイルは学会ホームページにも掲載しています。

- ・ E-mail jichitai-soumu1986@jigaku.org
 - ・ 郵送 〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町 3-4 ニュー楓ビル 8F
 - ・ Tel 03-5577-3187
- 次のサイトからも申し込むことができます。グーグルフォームのアンケート形式の回答により申し込んで下さい。
申し込み後、送信をクリックすると回答状況が、指定のアドレスに送付され確認ができます。

<https://x.gd/YSMNcC>



右の QR コードからも申し込みが可能です。

- 参加申込期限は、2025年8月2日（土）です。
- 参加費は次のとおりです。（1日のみの参加も同額です。）
 - 会 員 3,000円
 - 非会員 6,000円

なお、参加費について、自治体学会発行の領収書が必要の方は、直接自治体学会事務局あてにお申し込みください。

- ・ E-mail jichitai-soumu1986@jigaku.org

＜参加費の振り込み＞

- 大会参加費、情報交換会参加費、エクスカーショ参加費、弁当代については、**8月12日（火）**までに、振込手続きをお願いします。
- 次のいずれかの口座へ振込をお願いします。振込手数料は参加者負担となりますのでご了承ください。
- 参加費の入金後、公務等の都合により参加できなくなった場合は、8月16日（土）までにご連絡ください。

【振込先口座】

- ① 三菱UFJ銀行 八重洲通支店 普通預金 口座番号：0378416
口座名義：自治体学会 理事長 阿部 昌樹
(ジチタイガッカイ リジチョウ アベマサキ)
- ② ゆうちょ銀行 ○一八支店 口座番号：0210789
(ゼロイチハチ)
口座名義：ジチタイガッカイ

＜参加証について＞

- 参加者には、当日、大会参加証をお渡しします。

(大会に関する問合せ先)

自治体学会事務局 杉渕

TEL 03-5577-3187

E-mail jichitai-soumu1986@jigaku.org

第38回全国自治体政策研究交流会議・第39回自治体学会 長野大会 申込書＜大会参加等＞

申込日 2025 年 月 日
受付番号

大会参加のため必要な範囲内での個人情報提供について同意の上、以下の通り申し込みをします。

都道府県名	所属団体・部署名			
書類送付先 いづれかに	☐ 所属先 ☐ 自宅	書類送付先住所	郵便番号	フリガナ
連絡先	TEL	FAX	E-Mail	

No.	参加者 名簿への掲載 の掲載 どちらか ☒	都道府県	所属団体・部署名	フリガナ 氏 名	自治体学会 会員種別 会員・非会員どちらか ■ 会員 □ 非会員 会員は会員番号記入	政策研究 交流会議	自治体学会										エクスカ ション			
							参加費 【会員】3,000円 【情報交換会参加費】6,000円	参加費 【非会員】6,000円 【情報交換会参加費】6,000円	弁当 1,000円											
										8/22(金)	8/23(土)									8/24(土)
例	☒ 可 ☐ 不可	東京都	東京都○○区○○課	アズマ タロウ 東 太郎	■ 会員 □ 非会員 会員番号 1234	○	8/22(金)	16:00～ 18:00	18:45～ 20:30	8/22(金)	16:00～ 18:00	18:45～ 20:30	8/23(土)	9:40～ 11:40	12:50～ 14:20	14:30～ 16:30	9:00～16:00	○	×	
1	☐ 可 ☐ 不可				□ 会員 □ 非会員 会員番号															
2	☐ 可 ☐ 不可				□ 会員 □ 非会員 会員番号															
3	☐ 可 ☐ 不可				□ 会員 □ 非会員 会員番号															
4	☐ 可 ☐ 不可				□ 会員 □ 非会員 会員番号															
5	☐ 可 ☐ 不可				□ 会員 □ 非会員 会員番号															

※ 6名以上の場合は、コピーをして対応してください。お問い合わせは下記の自治体学会事務局にご連絡ください。

※下記のURLから申込みます。
<https://x.gd/YSMNcC>



申込みQRコード

(通信欄)

自治体学会事務局
〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町3-4 ニュー楓ビル8F
TEL&FAX 03-5577-3187 E-mail jichitai-soumu1986@jigaku.org

未来に向けて高める ウェルビーイング

ー 幸せ実感都市 NAGANOから ー



オリンピック開閉会式場



戸隠スキー場 (株)戸隠より



戸隠 そば



川中島白桃（長野市川中島町発祥）

（写真提供：長野市）

第38回全国自治体政策研究交流会議長野大会 問合せ先

長野市企画政策部企画課
〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町 1613 番地
TEL：026-224-5010

第39回自治体学会長野大会 問合せ先

自治体学会事務局
〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町 3-4 ニュー楓ビル8F G
TEL/FAX：03-5577-3187 HP：<https://www.jigaku.org/>